

- 問1 聖武天皇が鎮護国家の思想に基づき、国の安泰を願って実施した具体的な政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2021年 沖縄県公立入試 類似）

1. 三世一身の法による土地私有の公認と、班田収授の徹底

2. 藤原京から平城京への遷都と、律令の完成

3. 全国への国分寺・国分尼寺の建立と、東大寺での大仏造立

4. 遣唐使の派遣による唐の文化の導入と、仏教の禁止
- 問2 奈良時代、政府は地方の実情を把握し統治に役立てるため、各国の国司に土地の様子や産物、伝承などをまとめて報告するよう命じました。このように、当時の地方の自然や社会を知るための重要な手がかりとなっている地理書を何といいますか。 （2023年 静岡県公立入試 類似）

1. 万葉集

2. 風土記

3. 古事記

4. 日本書紀
- 問3 律令制度において、班田収授法に基づき、戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に政府から一生の間与えられた土地の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 （2021年 山口県公立入試 類似）

1. 口分田

2. 私田

3. 公田

4. 位田
- 問4 ある歴史資料において、唐の僧である鑑真の没年が西暦763年と記述されていた。この時期は何世紀にあたるか。 （2019年 北海道公立入試 類似）

1. 9世紀

2. 8世紀

3. 7世紀

4. 6世紀
- 問5 かつての税制を知る手がかりとして、伊豆国から都まで運ばれた荷物に付けられていた木製の荷札が見つかっています。この荷札には特産品である「鯉節」を納めた記録が残っていますが、このように地方の産物を都へ届ける税の仕組みについて正しく述べたものはどれですか。 （2016年 山形県公立入試 類似）

1. 主に成人男性に課せられ、各地の特産物を都まで運んで納める義務。

2. 都での労役の代わりに、決められた長さの布を都へ納める義務。

3. 収穫した稲の約3%を、それぞれの国にある倉庫へ納める義務。

4. 年間60日を限度として、国司の命令で地方の土木工事などに従事する義務
- 問6 奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について、仏教の影響を強く受け、唐の文化やシルクロードを経由した西アジアなどの影響も取り入れた、国際色豊かな文化の名称として正しいものを選びなさい。 （2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 弘仁・貞観文化

2. 飛鳥文化

3. 天平文化

4. 国風文化
- 問7 710年に現在の奈良県に遷都された平城京は、当時の東アジアにおいて強大な影響力を持っていたある国の都をモデルに設計されました。そのモデルとなった国の名前と、都の名称の正しい組み合わせを選びなさい。 （2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 唐の長安

2. 唐の洛陽

3. 隋の長安

4. 隋の大興城
- 問8 奈良時代、政府が一般の人々への布教を制限していた中で、民衆の間で仏教を広めるとともに、橋や道路、ため池の建設といった社会事業を行い、多くの人々の信頼を得た僧侶は誰ですか。 （2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 日蓮

2. 雪舟

3. 行基

4. 空海
- 問9 東大寺の正倉院には、聖武天皇ゆかりの品々のほか、西アジアやインドを起源とする文様が施された楽器や宝物が数多く納められています。このように、当時の日本に国際色豊かな文化がもたらされた背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 平清盛が日宋貿易を推進し、宋の貨幣や香料とともに異国の文化が伝わったため

2. 足利義満が勘合貿易を行い、明から禅宗の影響を受けた宝物を持ち帰ったため

3. 遣唐使によって、聖徳太子が大陸の進んだ仏教工芸品を大量に輸入したため

4. 遣唐使によって、大陸の広大な交易網を通じて集まった品々や文化が流入したため
- 問10 奈良時代、日本の僧からの要請を受け、遣唐使の船を利用して5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて来日した唐の僧侶は誰ですか。来日後は正式な仏教のルールである「戒律」を伝え、後に唐招提寺を建立しました。 （2026年 茨城県公立入試 類似）

1. 最澄

2. 行基

3. 空海

4. 鑑真
- 問11 律令制度のもとでは、農民に対して「租・調・庸」などの重い負担が課されていました。万葉集に収められた山上憶良の「貧窮問答歌」には、里長（さとのおさ）が税の取り立てにやってきて、厳しい声をあげる様子や、衣類も満足にない中で子供たちが泣きつく悲惨な生活が描かれています。当時のこうした負担の内容について、正しく述べたものはどれですか。 （2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 「惣」と呼ばれる村の自治組織が作られ、村全体で一括して年貢を納める仕組みが取られたが、凶作の際には免除された。

2. 口分田の収穫から一定割合の米を納める租のほか、地方の特産物を納める調、都での労働の代わりに布を納める庸などが課された。

3. 国民の義務として「小学校」への就学が命じられ、その教育費を捻出するために、米ではなく現金で納税することが義務付けられた。

4. 近隣の5軒を「五人組」として組織し、税の納入や犯罪に対して連帯責任を負わせることで、確実な徴収が行われた。
- 問12 奈良時代には、戸籍に登録された人民に対して土地を貸し与える「班田収授法」が行われていました。この制度の基盤となった、すべての土地と人民は国家（天皇）のものであるとする基本的な考え方を何といいますか。 （2015年 岐阜県公立入試 類似）

1. 封建制度

2. 検地

3. 公地公民

4. 地租改正
- 問13 古代の律令国家が実施した軍事制度において、主に東国の農民が徴兵されて九州北部の警備にあたった「防人（さきもり）」について、その役割や背景を説明したのとして正しいものを選びなさい。 （2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅の侵攻に備えるために大宰府などの要所に配置された

2. 律令制度が崩壊したあと、地方の武士団が領地を守るために自主的に結成した

3. 平安時代に地方の治安が乱れたため、有力な農民の子弟が都の警備のために組織された

4. ロシアの南下に備えるため、北方の防衛と土地の開拓を兼ねて配置された
- 問14 律令国家において、成人男子の大きな負担となった税制のうち、各地の絹や布、あるいは魚や塩といった特産物を都まで運び、中央政府に納めるものを何といいますか。 （2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 庸

2. 調

3. 租

4. 雑徭
- 問15 律令国家が確立された後、政府は支配地域をさらに広げるために東北地方への進出を強めました。9世紀初め、桓武天皇によって征夷大將軍に任命され、蝦夷の軍事指導者であったアテルイを降伏させるなど、北方の支配拡大に大きく貢献した人物は誰ですか。 （2019年 徳島県公立入試 類似）

1. 足利尊氏

2. 坂上田村麻呂

3. 北条時宗

4. 中大兄皇子

答え合わせ・解説

問1	答え 3 全国への国分寺・国分尼寺の建立と、東大寺での大仏造立	聖武天皇は、地方の行政単位である各「国」に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。そして都の東大寺に巨大な仏像（大仏）を造立することで、中央から地方まで仏教の力を行き渡らせ、国家の平安を祈願しました。これは貴族の権力誇示や外交交渉の円滑化が主目的ではなく、宗教的な権威による社会の安定を目指したものでした。
問2	答え 2 風土記	713年に元明天皇が命じて作らせた、地方の地理や伝承をまとめた書物です。現存するものは少ないものの、出雲（島根県）などはほぼ完全な形で残っており、当時の地方文化や人々の暮らし、地名の由来などを伝える貴重な史料となっています。
問3	答え 1 口分田	律令国家の基本方針である「公地公民」の原則に基づき、政府は人々に生活の基盤となる土地を割り当てました。この土地を口分田と呼び、6歳以上の男女に一定の面積が与えられ、その代償として租（稲の収穫の約3%）などの税を納める義務を負わせました。
問4	答え 2 8世紀	世紀の数え方は、西暦1年から100年までを1世紀とし、以降100年ごとに区切っていく。簡易的な計算方法として、西暦年の下2桁が「00」でない場合、百の位以上の数字に1を加えることで求められる。西暦763年は701年から800年の期間に含まれるため、8世紀となる。百の位の数字である「7」を見て7世紀と答えないように注意が必要である。
問5	答え 1 主に成人男性に課せられ、各地の特産物を都まで運んで納める義務。	律令国家の財政を支えた「調」は、地方の特産物を都に集める役割を担っていました。伊豆国の鯉節のように、その土地ならではの加工品が選ばれることが多く、これらは都まで運搬する負担も含めて成人男性の義務とされていました。
問6	答え 3 天平文化	聖武天皇は仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想を推進しました。遣唐使によってもたらされた唐の進んだ文化や、さらに西方の国際的な要素が融合し、平城京を中心に華やかな文化が展開されました。これが天平文化です。
問7	答え 1 唐の長安	平城京は、元明天皇の時代の710年に、それまでの藤原京から遷都して造営されました。この都は、当時、東アジアの政治・文化の中心として栄えていた唐の都である「長安」をモデルとして設計されており、碁盤の目のように区切られた整然とした街並みが特徴です。当時の日本は遣唐使を派遣し、大陸の進んだ制度や文化を積極的に取り入れていました。
問8	答え 3 行基	当時の政府は「僧尼令」によって僧侶が寺の外に出て活動することを制限していましたが、この人物は民衆を救うために各地で実務的な活動を行いました。その絶大な影響力と土木技術などの専門知識は、後に聖武天皇による東大寺の大仏造立を成功させるために必要不可欠なものとなりました。
問9	答え 4 遣唐使によって、大陸の広大な交易網を通じて集まった品々や文化が流入したため	正倉院の宝庫に納められた国際的な宝物は、当時の中国の王朝である唐との交流、すなわち遣唐使の派遣によってもたらされました。当時の唐はシルクロードを通じた東西交流の拠点であったため、日本にもペルシア（現在のイラン付近）やインドなどの文化が、唐を経由して流入しました。聖武天皇は、仏教の力で国を治める「鎮護国家」の思想のもと、こうした大陸の制度や文化を積極的に取り入れ、国家の安定を図りました。
問10	答え 4 鑑真	当時の日本では、僧侶になるための公的な基準が曖昧であり、税を逃れるために勝手に僧を名乗る者が増えるなどの問題がありました。そこで、唐から正式な「戒律」を授けることができる高僧として招かれたのが鑑真です。彼は度重なる遭難で視力を失いながらも、不屈の精神で来日を果たし、日本の仏教制度の整備に大きく貢献しました。
問11	答え 2 口分田の収穫から一定割合の米を納める租のほか、地方の特産物を納める調、都での労働の代わりに布を納める庸などが課された。	律令国家の財政を支えるため、農民には多大な負担がありました。主に口分田の面積に応じて米を納める「租」、各地の特産物（絹や海産物など）を都まで運んで納める「調」、都での労役の代わりに布を納める「庸」がありました。これらに加えて、九州の警備にあたる防人（さきもり）などの「兵役」もあり、自分の食料を自ら用意して都や防衛地まで向かわなければならなかったため、農民の生活は「貧窮問答歌」に描かれるように極めて困窮していました。
問12	答え 3 公地公民	大化の改新から律令国家の形成過程において、それまで豪族が私有していた土地や人民を国家が直接管理する方針が示されました。これが公地公民の原則です。この原則があるからこそ、国家は人民に「口分田」を貸し出し、死後には返還させるという再分配のシステムを運用することができました。
問13	答え 1 白村江の戦いで敗北後、唐や新羅の侵攻に備えるために大宰府などの要所に配置された	663年の白村江の戦いで日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れたあと、報復の侵攻を恐れた政府は、九州北部の警備を強化するために防人を配置しました。万葉集には、過酷な兵役に従事した農民やその家族の心情を詠んだ「防人歌」が収められており、当時の人々の苦労を今に伝えています。
問14	答え 2 調	律令制度下の税制のうち、土地に対して課せられる「租」に対し、人に対して課せられる「庸」や「調」がありました。調は各地の特産物を納めるもので、その品目は布、塩、魚など多岐にわたりました。これらの品物は、納税者である農民自身が都まで運ぶ必要があり、非常に重い負担となっていました。
問15	答え 2 坂上田村麻呂	律令国家の形成期から拡大期にかけて、東北地方に住む人々（蝦夷）への支配を広げることは国家の大きな課題でした。坂上田村麻呂は征夷大將軍として組織的な軍事行動を行い、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどして政府の支配圏を北へと押し広げました。これは、律令国家が成熟し、領域国家として拡大していった過程を示す重要な出来事です。

- 問1 743年に出された墾田永年私財法が、その後の日本の土地制度や社会に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- 全ての土地を天皇のものとする公地公民の原則が徹底され、中央集権体制がより強固になった。
 - 貴族や寺社が大規模な土地の私有を進めるようになり、荘園が増加するきっかけとなった。
 - 開墾した土地の私有を3代の期間に限定したため、一時的に農業生産が向上したがすぐに衰退した。
 - 武士が各地の土地を実力で支配することを認め、鎌倉幕府が成立する直接の原因となった。
- 問2 古代の肥後国（現在の熊本県）から絹が都へ納められたことを記録した木簡が発見されています。このように、律令国家において地方の特産品を都へ納めさせた税の仕組みについて説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- 田の面積に応じて収穫した稲を納めさせた税で、租と呼ばれる。
 - 地方の特産品を都へ納めさせた税で、調と呼ばれる。
 - 都での年間10日間の労役に代えて布などを納めさせた税で、庸と呼ばれる。
 - 地方の農民に年間60日を限度として無償で土木工事などを行わせた負担で、雑徭と呼ばれる。
- 問3 聖武天皇が平城京に東大寺を建立した背景にある、当時の社会状況と政治的な目的として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- 仏教の力によって国家の安定をはかる「鎮護国家」の思想に基づき、疫病や反乱などの社会不安を解消しようとした。
 - 唐から伝わった最新の建築技術を誇示することで、地方の豪族を威圧し、中央集権体制を強固にしようとした。
 - 遣唐使によってもたらされた禅宗の教えを広めるため、国家の予算を投じて巨大な寺院を建設した。
 - 死後に極楽浄土へ行けることを願う「浄土信仰」が貴族の間で広まったため、その中心的な修行の場として建立した。
- 問4 律令制が整えられた時期、政府は戸籍を作成して人々の把握に努めました。この戸籍に基づいて行われた「班田収授法」の内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- 有力な貴族や寺社が所有する大規模な私有地を、国家の直轄地として没収する制度。
 - 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。
 - 平城京の周辺にある土地を、功績のあった役人に対して永久に与える制度。
 - 新しく開墾した土地を、三世代にわたって私有することを認める制度。
- 問5 10世紀の阿波国の戸籍に関する記録では、高齢者の層において女性の割合が不自然に高く、男性が極端に少ないという状況が示されています。このような歪んだ人口構成が記録された理由として、当時の社会背景を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- 頻発する対外戦争によって多くの成人男性が戦死し、実際に高齢まで生き残る男性がほとんどいなくなった
 - 当時は女性の地位が男性よりも高く、女性にのみ広い口分田が与えられる制度であったため、女子としての登録が推奨された
 - 男性には租・調・庸などの重い税負担があったため、死亡を隠す、あるいは性別を偽って登録することで負担を逃れようとした
 - 男性は墾田永年私財法によって私有地の開墾が認められたため、口分田を返還して戸籍から抜ける者が相次いだ
- 問6 万葉集の内容について、他の時代に編纂された和歌集と比較した際に見られる際立った特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の歌が収録されている点
 - 全編が仏教の教えを広めるための宗教的な目的で構成されている点
 - 紀貫之らによって、すべて平仮名を用いた繊細で優美な表現のみでまとめられている点
 - 後鳥羽上皇の命令によって、武士の台頭に対抗する公家文化の象徴として編纂された点
- 問7 743年に墾田永年私財法が制定された背景と、その目的を説明した内容として最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- 武士の台頭を抑えるために、貴族の経済基盤を強化して朝廷の権威を回復させる目的で制定された。
 - 土地の売買を自由化することで、農民が借金を返済しやすくし、浮浪や逃亡を防ぐ目的で制定された。
 - 人口の増加により食料となる米が不足していたため、土地を永久に自分のものにできるという保証を与えて、人々の開墾意欲を高める目的で制定された。
 - 中国の唐にならって中央集権体制を確立するため、すべての土地を一度国家に回収し、改めて再分配する目的で制定された。
- 問8 奈良時代の律令制度において、全国の成人男子に課された負担のうち、平城京での10日間の労役に代えて、布などを都へ納めることで認められていた税制度を何と呼びますか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
- 租
 - 雑徭
 - 庸
 - 調
- 問9 律令制度の基本原則の一つである土地制度について述べた次の文の空欄に適する語句の組み合わせを選びなさい。「律令国家は、戸籍に登録された6歳以上の男女に対して（①）を分け与え、死後に国へ返還させる班田収授の法を実施した。しかし、人口の増加に伴い支給する土地が不足したため、政府は743年に新しく開墾した土地の永久私有を認める（②）を制定し、土地の不足を解消しようとした。」 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- ① 宅地 ② 公地公民の法
 - ① 公田 ② 三世一身の法
 - ① 墾田 ② 班田収授の法
 - ① 口分田 ② 墾田永年私財法
- 問10 7世紀から9世紀にかけて、当時の日本が先進的な律令制度や仏教文化を吸収するために、中国の王朝へ派遣した公式の使節団を何と呼ぶか、正しいものを選びなさい。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- 朝鮮通信使
 - 遣唐使
 - 遣明使
 - 遣隋使
- 問11 7世紀から9世紀にかけて、日本が律令などの進んだ制度や仏教文化を直接学ぶために、たびたび使節を派遣した中国の王朝はどこか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- 魏
 - 漢
 - 唐
 - 宋
- 問12 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた倭（日本）が、九州北部の太宰府周辺に「水城（みづき）」と呼ばれる大規模な土塁や、大野城などの山城を築いた理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- 唐や新羅による日本本土への侵攻を警戒し、防衛体制を強化するため
 - 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、巨大な寺院を保護するため
 - 遣唐使を安全に派遣するための巨大な港湾施設を整備するため
 - 九州に割拠する豪族たちを武力で制圧し、中央集権化を進めるため
- 問13 大化の改新以降、土地と人民は国家のものとする原則があったが、奈良時代に入るとこの原則は崩れていった。国家から与えられ死後に返還する「口分田」に対し、貴族や寺院が独自に保有・支配した私有地は何と呼ばれるか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- 株仲間
 - 公地公民
 - 班田収授
 - 荘園

答え合わせ・解説

問1	答え 2 貴族や寺社が大規模な土地の私有を進めるようになり、荘園が増加するきっかけとなった。	墾田永年私財法によって土地を永久に私有できるようになったため、財力や労働力を持つ貴族や寺社が積極的に開墾を行い、広い私有地（荘園）を持つようになりました。これにより、国家が土地を管理する公地公民の仕組みが崩れ始め、中世の荘園公領制へとつながる大きな転換点となりました。
問2	答え 2 地方の特産品を都へ納めさせた税で、調と呼ばれる。	肥後国から絹が納められた木簡の記録は、地方の特産品を都へ納めさせる「調」の制度を示しています。稲を納める「租」や労役に代わる「庸」とは負担の内容が異なります。
問3	答え 1 仏教の力によって国家の安定をはかる「鎮護国家」の思想に基づき、疫病や反乱などの社会不安を解消しようとした。	聖武天皇の時代は、天然痘の流行や藤原広嗣の乱など、社会的に非常に不安定な時期でした。こうした困難を乗り越えるため、仏教の教えによって国を治める「鎮護国家」の考えが採用され、その象徴として東大寺や大仏が造られました。「浄土信仰」は平安時代中期以降に盛んになったものであり、時代背景が異なります。
問4	答え 2 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。	律令国家の形成期において、国家は「租」という税を確実に集めるために、班田収授法を確立しました。戸籍をもとに6歳以上の男女に口分田を割り当て、労働力を把握すると同時に、土地の売買や世襲を禁じることで、国家による土地支配を維持しようとした。これに対して、後に制定された「墾田永年私財法」は、開墾した土地の永年私有を認めるものであり、班田収授法の崩壊につながる出来事でした。
問5	答え 3 男性には租・調・庸などの重い税負担があったため、死亡を隠す、あるいは性別を偽って登録することで負担を逃れようとした	律令制において、男性は租だけでなく調や庸、防人などの兵役といった非常に重い負担を負っていました。一方で女性の負担は男性の3分の1程度（租のみ）であったため、税負担を回避するために男性の死亡を隠したり、男性を女性として登録する「偽籍」という行為が横行しました。この結果、戸籍上の男女比が実態とかけ離れたものになりました。
問6	答え 1 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の歌が収録されている点	万葉集には、北九州の警備にあたった人々の心情を詠んだ「防人の歌」や、東日本の民衆の暮らしを詠んだ「東歌（あずまうた）」などが含まれています。このように名もなき人々の素朴で力強い感情が収められている点は、後の時代の貴族中心の勅撰和歌集には見られない、この時代特有の大きな特徴です。
問7	答え 3 人口の増加により食料となる米が不足していたため、土地を永久に自分のものにできるという保証を与えて、人々の開墾意欲を高める目的で制定された。	当時の日本では、人口増加に対して口分田が足りなくなっており、食料不足が深刻な課題でした。政府は当初、723年の三世一身の法で期間限定の私有を認めましたが、返還期限が近づくとも農民が土地を荒廃させてしまう問題が発生しました。そのため、期限のない「永年」の私有を認めることで、長期的な視点での開墾と食料生産の拡大を狙ったのがこの法令の背景です。
問8	答え 3 庸	律令制における租税のうち、都での労役に代えて布を納める制度が庸です。これに対し、口分田の面積に応じて稲を納めるのが「租」、地方の特産物を納めるのが「調」、地方での土木工事などの労役（年間60日以内）が「雑徭」です。
問9	答え 4 ① 口分田 ② 墾田永年私財法	律令制度の下では、公地公民の原則に基づき、人々に一定の農地を分け与えて税を徴収する仕組みが整えられました。このとき支給された農地が口分田です。その後、人口増加による土地不足が深刻化したため、政府は開墾を奨励するために三世一身の法を経て、743年に墾田永年私財法を出し、開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めました。
問10	答え 2 遣唐使	古代の日本は、中国の「唐」の優れた制度や文化を学ぶために、約200年間にわたって使節を派遣しました。これが遣唐使です。遣隋使はそれ以前の「隋」の時代に派遣されたものであり、朝鮮通信使は江戸時代に朝鮮王朝から日本へ派遣された使節を指します。
問11	答え 3 唐	日本は7世紀初めから遣隋使を送り、隋が滅んだ後は唐に使節（遣唐使）を送りました。唐の優れた政治制度や文化は、当時の日本の国づくりに大きな影響を与え、国際色豊かな「天平文化」などが発展するきっかけとなりました。
問12	答え 1 唐や新羅による日本本土への侵攻を警戒し、防衛体制を強化するため	白村江の戦いでの敗北後、大和政権は大陸からの報復的な侵攻を受けることを強く恐れました。そのため、外交の拠点であった太宰府の周囲に、防波堤のような役割を持つ水城や、逃げ込み用の山城を急いで築くことで、国土防衛を固めようとした歴史的背景があります。これは当時の東アジアの緊張感を示す重要な動きです。
問13	答え 4 荘園	公地公民の原則に基づき支給された口分田とは異なり、墾田永年私財法をきっかけに成立した私有地のことである。平安時代にはさらに寄進などを通じて拡大し、国家の支配体制を大きく変える要因となった。班田収授は口分田を与える手続きのこと、株仲間は江戸時代の同業者組合であり、時代や内容が異なる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 佐渡国	律令制に基づき設置された令制国の一つで、現在の新潟県にある佐渡島全域を範囲としていました。五畿七道の区分では、越後国などと同じく日本海側に位置する「北陸道」に分類されます。選択肢にある能登国は現在の石川県の一部、隠岐国は山陰道に属する現在の島根県の島々、対馬国は西海道に属する現在の長崎県の島を指します。
問2	答え 3 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられ、天皇から防人、農民まで幅広い階層の歌が収められている。	万葉集の最大の特徴は、歌の作者が天皇や貴族だけでなく、東国の防人（防人歌）や農民など、身分を問わず多岐にわたっている点にあります。まだ、かな文字が発明されていなかったため、漢字を日本語の音として利用する「万葉仮名」という独特の表記方法がとられており、当時の人々の生の声を知る貴重な資料となっています。
問3	答え 4 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。	万葉集は奈良時代末期に成立したとされる日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収録されており、その作者が天皇や貴族といった有力者だけでなく、九州の警備に当たった防人（さきもり）や東国の人々（東歌）など、身分を問わず多岐にわたっている点が大きな特徴です。当時の人々の素朴な感情や生活が直接的に表現されています。
問4	答え 4 地方の特産品を都へ納めさせた税で、調と呼ばれる。	肥後国から絹が納められた木簡の記録は、地方の特産品を都へ納めさせる「調」の制度を示しています。稲を納める「租」や労役に代わる「庸」とは負担の内容が異なります。
問5	答え 2 加賀の一向一揆に代表されるように、浄土真宗の門徒が守護大名を倒して自治を行った	聖武天皇による国分寺・国分尼寺の建立は8世紀（奈良時代）のことです。これに対し、加賀の一向一揆は15世紀（室町時代）の出来事であるため、時系列では後になります。聖徳太子の活動や仏教伝来に伴う勢力争いは飛鳥時代の出来事であり、平城京の寺院が政治に関与したのは奈良時代そのものの特徴です。
問6	答え 4 鎮護国家	8世紀の日本では、天然痘の流行や凶作、貴族間の政争といった深刻な社会不安が続いていました。聖武天皇は、仏の慈悲や加護を政治に取り入れることで、こうした災いから国を救い、安泰に導こうと考えました。この思想を背景に、全国への国分寺・国分尼寺の建立や、東大寺の大仏造立が進められました。
問7	答え 3 鑑真	当時の日本には僧侶が正式な資格を得るための「戒律」を受ける仕組みが不足していました。唐の僧である鑑真は、この戒律を伝えるために日本へ渡り、東大寺に戒壇（戒律を受ける場所）を設けました。これにより、国家公認の僧侶としての質を維持する制度が確立されました。選択肢にある行基は民衆への布教や社会事業、最澄と空海は平安時代初期に新しい仏教を伝えた人物です。
問8	答え 2 都に近い地域は移動の負担が少ないため、その分、実際の労働に従事させる日数を増やすことで労働力を確保しようとしたから。	奈良時代の労役や賦役の仕組みは、都からの距離という地理的条件が考慮されていました。都に近い地域の人々は、都へ行くための移動日数がほとんどかかりません。国家はこの地理的利点を活かし、移動にかかるはずの時間を実際の労働時間に充てさせることで、都の維持や建設に必要な労働力を効率的に運用しようとした。一方で、都から遠い地域の人々は、特産物を都へ運ぶ「調」などの際、道中だけで数十日を費やすこともあったため、都での労働日数は少なく抑えられていました。このように、都からの距離と負担の内容は密接に関係していました。
問9	答え 2 調	律令制度における租税のうち、絹・布・海産物などの特産物を納めるものが「調」です。これに対し、田の収穫から約3%の稲を納めるものは「租」、都での労役（歳役）の代わりに布を納めるものは「庸」と呼ばれます。調と庸は、納税者が自ら都まで運ぶ負担（運脚）も伴っており、国家の財政を支える重要な財源でした。
問10	答え 4 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため	聖武天皇が目指した「鎮護国家」とは、仏教の教えによって災いを取り除き、国を治めるという思想です。当時の日本は、飢饉や天然痘の流行などによって社会が極めて不安定な状況にありました。このような不安を払拭し、中央集権的な国家の結びつきを強めるために、巨大な大仏や全国的な国分寺網を整備しました。土地の私有を認めたのは同時期の墾田永年私財法ですが、これは大仏造立の直接的な目的ではありません。
問11	答え 1 開墾した土地の永代私有が認められ、公地公民の原則が崩れ始めた。	聖武天皇の時代は、国分寺や国分尼寺の建立、東大寺の大仏造立など仏教を中心とした国づくりが進められた時期です。これと並行して、経済面では土地不足を解消するために「墾田永年私財法」が出されました。この法令は、それまで国家がすべての土地を管理するという「公地公民」の建前を事実上放棄するものであり、有力者による土地の私有化という大きな社会の変化を招きました。
問12	答え 1 各地の特産物を、負担者が自ら都まで運んで中央政府に納めた。	木簡に記された「調」は、その土地ならではの産物を納める税です。この税は、納める品物を用意するだけでなく、それを地方から都まで人力で運ぶ「運脚（うんきゃく）」という負担もセットになっていました。他の選択肢にある「租（稲の納付）」「庸（労役の代わりにの布）」「雑徭（地方での労役）」と区別することが重要です。
問13	答え 3 聖武天皇の命により、仏教による国家の安泰を祈願して全国に国分寺・国分尼寺が建てられた	平城京から平安京へ遷都するまでの期間は奈良時代にあたります。この時代、聖武天皇は仏教を深く信仰し、国ごとに国分寺・国分尼寺を造営する詔（みことり）を出しました。また、この時代には和同開珎などの貨幣も鑄造され、平城京の造営費用などに充てられました。他の選択肢は、飛鳥時代（聖徳太子）や平安時代（遣唐使停止、平将門の乱）の出来事であり、時代が異なります。

- 問1 8世紀初めの大宝律令が制定された頃、日本は大陸の先進的な国家に大規模な使節を派遣しました。この使節が、当時の中国の王朝から進んだ制度や文化を日本に持ち帰り、日本の国家の仕組みを整える上で重要な役割を果たしたものを何と呼びますか。 (2023年 広島県公立入試 類似)
1. 朝鮮通信使 2. 勘合貿易船 3. 遣唐使 4. 遣隋使
- 問2 東大寺の正倉院には、青く透き通ったガラス製の坏（容器）など、当時の日本にはなかった高度な技術による宝物が多数収められています。これらの宝物が日本に伝わった経路や背景について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鎌倉時代の日宋貿易を通じて、中国から最新の製紙技術とともに輸入された。 2. 南蛮貿易により、ヨーロッパの宣教師がキリスト教の布教とともに献上した。 3. シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。 4. 琉球王国の中継貿易により、東南アジア諸国の特産品が九州を経て近畿地方へ運ばれた。
- 問3 聖武天皇が、都に東大寺を、全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた背景にある目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 地方の豪族を仏教勢力として組織化し、武力によって蝦夷を制圧するため 2. 仏教の力を用いて、疫病や災害などの社会不安を解消し、国家の安定を図るため 3. 墾田永年私財法によって得られた余剰資金を管理する拠点を作るため 4. 遣唐使を廃止し、日本独自の国風文化を全国に浸透させるため
- 問4 歴史上の出来事を時系列で整理したとき、7世紀初めの「遣隋使の派遣」から、11世紀末の「院政の開始」までの間に起こった出来事として正しいものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 承久の乱が起こり、後鳥羽上皇が幕府軍に敗れて隠岐に流された。 2. 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。 3. 参勤交代が制度化され、諸大名が一年交代で江戸と領地を往復するようになった。 4. 地租改正が行われ、土地の所有者に地券が発行され、地価の3%を現金で納めることになった。
- 問5 日本の経済史の主な出来事をまとめた記述において、8世紀から10世紀の期間に位置づけられる、708年に発行された貨幣の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 広島県公立入試 類似)
1. 無文銀錢 2. 和同開珎 3. 天保通宝 4. 永樂通宝
- 問6 律令国家が作成した戸籍の中には、ある郷の総人口435人のうち、男性が59人であるのに対し、女性が376人と記録されているものがあります。このように、実際の性別とは異なる虚偽の申告が行われた背景には、男性にのみ課せられた重い税負担がありました。収穫した稲の約3%を納める「租」とは別に、男性にのみ課せられた、地方の特産品を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 調と庸 2. 租と調 3. 租と公出拳 4. 租と庸
- 問7 奈良時代の税制度において、都からの距離と人々に課せられる負担の関係について正しく述べたものはどれですか。都を中心として同心円状に地域の負担を示した資料の内容を踏まえて答えなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 都に近い地域ほど、特産物を都まで運ぶ往復の移動に日数がかかるため、労役が免除されていた。 2. 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。 3. 都に近い地域ほど、収穫した米の一定割合を納める「租」の負担が重くなっていた。 4. 都に近い地域ほど、都から遠い地域よりも納める特産物の種類が多く指定されていた。
- 問8 奈良時代の律令制度において、政府が農民を管理し、土地を割り当てるための基準とした仕組みと、その際に農民へ与えられた土地の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 検地帳に基づいて与えられた名田 2. 戸籍に基づいて与えられた名田 3. 戸籍に基づいて与えられた口分田 4. 検地帳に基づいて与えられた口分田
- 問9 奈良時代、平城京を中心に展開された「天平文化」について、その成立背景と中心人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 桓武天皇が新しい仏教を保護し、山岳修行を中心とした神秘的な文化が形成された。 2. 藤原道長が摂関政治の全盛期を築き、かな文字を用いた女流文学が発展した。 3. 足利義満が日明貿易を推進し、公家文化と武家文化が融合した北山文化が形成された。 4. 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。
- 問10 東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシアといった遠方の地域の特色を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。 2. 日本がペルシアやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。 3. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。 4. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。
- 問11 奈良時代の平城宮跡などの遺跡からは、当時の政治や人々の生活を物語る史料が数多く出土しています。紙が非常に貴重であった古代において、墨で文字を書き、荷物の付札や行政の記録として用いられた細長い木の札を何と呼びますか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 火炎型土器 2. 埴輪 3. 銅鐸 4. 木簡
- 問12 奈良時代の国際的な文化を象徴する事例として、東大寺の正倉院には当時の貴重な宝物が数多く保管されています。これらの宝物の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. キリスト教の伝来に伴い、ヨーロッパの宣教師が持ち込んだ聖書や地図が数多く残されている 2. 縄文時代からの伝統的な土器が、仏教文化と融合して独自の変化を遂げたものが中心である 3. 宋との貿易を通じて輸入された、青磁や白磁などの磁器が大部分を占めている 4. 遣唐使を介して、ペルシャ（イラン）など西アジアの影響を受けた工芸品や楽器が含まれている
- 問13 延べ二百万人以上の人々が協力したとされる奈良時代の東大寺の大仏造営において、当初は活動を制限されていた僧侶の行基が、最終的に朝廷から協力を依頼された背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 比叡山に延暦寺を建てて、平安京の北東にある鬼門を守護し、国家の安寧を祈念する役割を担っていたから。 2. 真言宗を説き、加持祈祷によって天皇の病気を治したこと、朝廷内での信頼が急速に高まったから。 3. 土木技術を駆使した社会基盤の整備を通じて、農民などの民衆から絶大な信頼を得ており、その動員力が期待されたから。 4. 唐から命がけで渡来し、正しい戒律を日本の僧侶に伝えることで、仏教界の規律を正した実績があったから。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 遣唐使	大宝律令によって律令国家としての形が整えられた時期、日本は中国の「唐」の優れた統治システムや仏教文化を直接学ぶために使節を派遣しました。これが遣唐使であり、持ち帰られた知識は平城京の建設や政治組織の構築に大きく貢献しました。遣唐使はそれ以前の「隋」に送られたものであり、朝鮮通信使は江戸時代のものです。
問2	答え 3 シルクロードを經由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通して唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問3	答え 2 仏教の力を用いて、疫病や災害などの社会不安を解消し、国家の安定を図るため	当時の社会は天然痘の大流行や凶作、貴族間の対立といった困難に直面していました。聖武天皇はこれらの社会的な混乱を解決するために仏教を重視し、国家の安泰を祈願して大仏の造立や全国的な寺院建立を行いました。これは宗教的な権威によって天皇を中心とする統治体制を強化する狙いもありました。
問4	答え 2 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。	遣隋使の派遣は飛鳥時代（600年～）、院政の開始は平安時代後期（1086年）の出来事です。743年に制定された墾田永年私財法は、その中間の奈良時代にあたります。他の選択肢については、承久の乱が鎌倉時代、参勤交代が江戸時代、地租改正が明治時代の出来事であるため、示された期間にはあてはまりません。
問5	答え 2 和同開珎	8世紀の奈良時代、平城京の造営費用や役人への給料を支払う目的などで和同開珎が発行されました。政府は貨幣を普及させるために、貨幣を貯めた量に応じて位階を与える「蓄銭叙位令」を出すなど、流通を促進する政策を講じました。
問6	答え 1 調と庸	律令制下では、すべての人民に口分田が与えられ、その面積に応じて収穫した稲の約3%を納める「租」が課せられていました。これに加え、成人男性には地方の特産品を納める「調」や、都での年間10日の労役の代わりに布を納める「庸」などが課せられていました。これらの負担は非常に重く、さらに都まで運ぶ運脚の負担も男性が負っていたため、人々は戸籍上で性別を偽る「偽籍（ぎせき）」を行って負担を逃れようとしていました。
問7	答え 2 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。	奈良時代の律令制度では、都からの距離に応じて税や労働の負担が調整されていました。都に近い地域（畿内など）に住む人々は、都までの移動距離が短く、移動に要する日数が少なくて済むため、その分、実際に都で働く「労役（賦役）」の日数が多く課せられていました。これは、遠方の地域の人々が特産物などを都まで運ぶのに多大な日数を費やすこととのバランスを考慮した仕組みです。「租」は主に田地の面積に応じて課されるものであり、都からの距離によって収穫量の割合が変わるものではありません。
問8	答え 3 戸籍に基づいて与えられた口分田	律令国家では、国民を把握するために「戸籍」を作成しました。この戸籍に基づき、6歳以上の男女に「口分田」を与えて耕作させる「班田収授法」が行われました。検地帳や名田といった用語は、後の時代（中世・近世）に登場する概念であり、奈良時代の制度としては不適切です。
問9	答え 4 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。	天平文化は、聖武天皇が仏教の力で国家の安寧を願った（鎮護国家）ことが大きな推進力となりました。当時、日本は積極的に唐の制度や文化を取り入れており、都である平城京には国際的な品々が集まりました。選択肢にある密教の発展（弘仁・貞観文化）や、かな文字の普及（国風文化）は、いずれも平安時代の特徴です。
問10	答え 3 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。	奈良時代の文化が国際的な性格を持つ背景には、唐の都である長安が「シルクロードの終着点」として機能していたことが挙げられます。長安には西方から多様な文物が流入しており、日本は遣唐使を派遣して唐の優れた制度や文化とともに、間接的に西アジアやペルシアなどの工芸技術やデザインを取り入れました。モンゴル帝国の影響は鎌倉時代の元寇以降の時期に関する記述であり、時代が異なります。
問11	答え 4 木簡	木簡は、古代において情報の記録や伝達のために用いられた木の板です。墨で文字が書かれており、都へ送られる租・庸・調といった税の荷札（どこから誰が送ったかを示すもの）や、役人の勤務記録、命令の伝達など、現代の公文書やメモのような役割を果たしていました。紙が普及する前の時代における、極めて重要な文字史料です。
問12	答え 4 遣唐使を介して、ペルシャ（イラン）など西アジアの影響を受けた工芸品や楽器が含まれている	当時の日本は遣唐使を派遣し、唐だけでなくシルクロードを經由して伝わった西アジアや中央アジアの文化も取り入れました。正倉院に収められた「螺鈿紫檀五絃琵琶」やガラス製品などは、当時の日本が大陸との交流を通じて国際色豊かな文化（天平文化）を築いていたことを示しています。
問13	答え 3 土木技術を駆使した社会基盤の整備を通じて、農民などの民衆から絶大な信頼を得ており、その動員力が期待されたから。	聖武天皇が発願した東大寺の大仏造立は、国家を挙げた巨大プロジェクトであり、莫大な費用と人手が必要でした。行基は各地で社会事業を行い、民衆の間で圧倒的なカリスマ性を持っていたため、朝廷は彼の動員力を利用することで大仏造立を成功に導こうと考えました。選択肢にある鑑真は戒律の伝達、空海は真言宗、最澄（比叡山）は天台宗に関する内容であり、行基の事績とは異なります。

- 問1 8世紀の日本では遣唐使がたびたび派遣され、中国の進んだ文化や制度を取り入れた国づくりが進められました。この時期に、唐の都である長安を模して、現在の奈良県につくられた都を何といいますか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 難波京 2. 平城京 3. 平安京 4. 藤原京
- 問2 奈良時代末期にまとめられた、現存する日本最古の歌集である「万葉集」の編纂に深く関わったとされる、当時の代表的な歌人は誰ですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 藤原定家 2. 紀貫之 3. 大伴家持 4. 太安万侶
- 問3 奈良時代の律令制度において、土地と民衆は国家のものであるという「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられた土地を何と呼びますか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 名田 2. 墾田 3. 佃 4. 口分田
- 問4 奈良時代、平城京内にある東大寺に巨大な大仏が建立されました。聖武天皇がこのような大規模な造営活動を行った背景として、当時の社会状況をふまえた理由を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 伝染病の流行や政治的な混乱が続いていたため、仏教の力で国を鎮めようとした。 2. 大規模な土木工事を行うことで、失業者に職を与え景気を回復させようとした。 3. 唐との国交が断絶したため、日本独自の仏教文化を新たに創造しようとした。 4. 地方の豪族たちが独自に仏教を広めていたため、中央の権威を統一しようとした。
- 問5 奈良時代、朝廷は命がけの航海を経て唐に使節（遣唐使）を派遣しました。留学生や僧が長期間滞在して学んだ成果を日本に持ち帰った背景には、どのような目的がありましたか。最も適切なものを選びなさい。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島における軍事的な優位性を確保するため、唐と軍事同盟を結ぶため 2. 唐の進んだ政治制度や文化を学び、国内の律令制度を整えるため 3. 中国の皇帝から「倭王」の称号を得ることで、国内での地位を安定させるため 4. 大陸の優れた鉄資源を確保するため、軍事的な従属関係を築くこと
- 問6 律令国家の税制において、戸籍に登録された人々に対する土地の配布と税の負担に関する説明として、当時の制度の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 戸籍に記載された家族のうち、労働力となる男性のみに土地が与えられ、布や特産物を納める義務が生じた 2. 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた 3. 土地の不足を防ぐため、口分田は成人した男性のみに与えられ、その代表として戸主が税を負担した 4. 6歳以上の男女に土地が与えられたが、実際に税として稲を納める義務があったのは戸主のみであった
- 問7 律令国家の政治組織において、天皇の下には祭祀を司る神祇官と、行政を統括する太政官が置かれました。この地方行政の仕組みにおいて、中央の都から派遣された「国司」のもとで、地元の有力な豪族が任命されて実務を担った役職は何と呼ばれますか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 防人 2. 郡司 3. 県令 4. 検非違使
- 問8 奈良時代から平安時代にかけての文化の形成について述べた文として、日本最古の和歌集である『万葉集』の特色をふまえた適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 全編が漢文で記された日本最古の漢詩集であり、当時の唐風文化の影響を強く受けている。 2. 防人の歌などが収録されており、都の貴族だけでなく地方の人々の生活や感情も反映されている。 3. 天皇の命令によって初めて編纂された「勅撰和歌集」であり、平安時代の国風文化の先駆けとなった。 4. 武士の台頭を背景に、力強く素朴な感情を詠んだ歌が中心となっている。
- 問9 奈良時代の文化と政治に関連して述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 道元が伝えた禅宗の影響を受け、聖武天皇が東大寺に大仏を安置した。 2. 藤原頼通が東大寺の大仏を造立し、華やかな国風文化の象徴とした。 3. 聖武天皇が東大寺を建立し、仏教による国家の安定を目指した。 4. 足利義満が金閣を建立した時期に、聖武天皇が全国に国分寺を建てた。
- 問10 743年に「墾田永年私財法」が施行されたことにより、その後の日本の社会に現れた大きな変化として正しいものはどれか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。 2. 土地の私有化が進んだ結果、米で納める「租」の制度が廃止され、全ての税が貨幣で納められるようになった。 3. 天皇による直接支配が全国の隅々まで行き渡り、武士という新しい階級が登場する余地がなくなった。 4. 班田収授の法がより厳格に守られるようになり、農民の間の貧富の差が完全に解消された。
- 問11 奈良時代には、天皇中心の国づくりを正当化するために歴史書が編纂されました。そのうち、神話や伝説、国の成り立ちなどを中心に記した書物として正しいものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 風土記 2. 古事記 3. 万葉集 4. 古今和歌集
- 問12 奈良時代、聖武天皇は仏教の教えによって国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、日本各地に特定の施設を設置するよう命じました。このとき、全国の国ごとに建てられた寺院の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 四天王寺 2. 建長寺・円覚寺 3. 国分寺・国分尼寺 4. 平等院鳳凰堂
- 問13 日本の歴史の流れを整理した年表において、律令国家の成立期と院政の開始期の間に位置し、唐の長安を模した大規模な都市計画に基づいて建設された都について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 聖武天皇が仏教による国家の安定を願って、一時的に山城国に遷した都である。 2. 持統天皇によって建設された、中国の都を模した日本初の本格的な都城である。 3. 710年に元明天皇が藤原京から奈良に遷都し、律令政治の拠点とした。 4. 794年に桓武天皇が新しい政治を求めて、京都の地に建設した。
- 問14 奈良時代の律令制度において、地方の特産物である絹や布、あるいは各地で採れる海産物などを中央の都（平城京）まで運び、納めることが義務付けられていた税を何というか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 租 2. 庸 3. 調 4. 雑徭

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平城京	710年に元明天皇によって遷都されたこの都は、唐の国際的な文化の影響を強く受けて設計されました。碁盤の目状に区画された「条坊制」が敷かれ、シルクロードを通じた西域の文化も流入しました。平安京は794年に京都に遷された都であり、藤原京は平城京の前に存在した日本初の本格的な都城です。
問2	答え 3 大伴家持	奈良時代の天平文化を代表する『万葉集』は、大伴家持が最終的な編纂に大きく関わったと考えられています。選択肢にある紀貫之は平安時代初期の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代初期の『新古今和歌集』の編纂者として知られており、混同しないよう注意が必要です。太安万侶は『古事記』を記録した人物です。
問3	答え 4 口分田	律令制度のもとでは、全ての土地と人民を天皇が支配するという公地公民の原則がとられていました。これに基づき、班田収授法によって戸籍に登録された人々に一定の土地が割り当てられ、収穫の約3%を「租」として納める義務が課されました。この土地は本人の死後に国へ返還することとされていました。
問4	答え 1 伝染病の流行や政治的な混乱が続いていたため、仏教の力で国を鎮めようとした。	当時は天然痘の流行や、貴族・皇族間の政治的な争いが絶えず、社会不安が広がっていました。聖武天皇は、仏教の力によって国家の災いを取り除こうとする「鎮護国家」の思想に基づき、都に東大寺、諸国に国分寺・国分尼寺を建立するよう命じました。これは単なる宗教活動ではなく、国家の安定を図るための重大な統治政策の一環でした。
問5	答え 2 唐の進んだ政治制度や文化を学び、国内の律令制度を整えるため	当時の日本は、唐の進んだ国家体制をモデルとして、天皇を中心とした中央集権的な国家づくりを進めていました。そのため、使節と共に送られた留学生や僧は、現地の優れた政治制度や律令、仏教文化などを深く学び、帰国後に日本の律令制度の整備や文化の発展に大きく貢献しました。一方、称号を得ることで権威を強めようとしたのは、より古い時代の外交の特徴です。
問6	答え 2 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた	班田収授法の特徴は、戸主などの代表者だけではなく、戸籍に登録された「6歳以上の男女」一人ひとりを対象に土地（口分田）を割り当てた点にあります。政府は戸籍を通じて民衆を個人単位で把握し、性別や身分に応じた面積の土地を与える代わりに、収穫物から「租」を徴収することで、国家の安定した財政収入を確保しようとしていました。
問7	答え 2 郡司	律令国家の地方支配は、国・郡・里という単位で行われました。中央から派遣された国司が「国」の政治を監督し、その下の単位である「郡」では、地元の状況に詳しい豪族が「郡司」に任命されて、租税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。これにより、中央政府の命令を地方の末端まで浸透させようとしていました。
問8	答え 2 防人の歌などが収録されており、都の貴族だけでなく地方の人々の生活や感情も反映されている。	万葉集は、特定の特権階級だけでなく、九州の沿岸警備にあたった防人や、名もなき民衆の歌が収められている点に歴史的価値があります。これは、奈良時代の文化が都だけでなく地方とも関わりを持っていたことを示唆しています。なお、最初の勅撰和歌集は平安時代の『古今和歌集』であり、日本最古の漢詩集は『懷風藻』です。
問9	答え 3 聖武天皇が東大寺を建立し、仏教による国家の安定を目指した。	東大寺の建立と大仏の造立は、奈良時代を代表する聖武天皇による事績です。藤原頼通は平安時代に平等院鳳凰堂を建てた人物であり、足利義満は室町時代の将軍です。また、禪宗が日本に広まるのは鎌倉時代以降であり、奈良時代の仏教は「鎮護国家」という国家を保護する性格が強いものでした。
問10	答え 1 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。	土地の私有が認められたことで、豊富な資金や労働力を動員できる有力な貴族や寺院がこぞって開墾を進めました。これが「初期荘園」の形成につながり、国家が直接土地と人民を支配する体制が徐々に形骸化していくことになりました。
問11	答え 2 古事記	天武天皇が編纂を命じ、712年に完成した歴史書です。帝紀（天皇の系譜）や旧辞（伝承）を整理し、神代から推古天皇までの出来事を記しています。一方、「風土記」は各地方の地理や産物、伝承をまとめたものであり、「万葉集」は同時期の和歌集、「古今和歌集」は平安時代に成立した勅撰和歌集であるため、内容が異なります。
問12	答え 3 国分寺・国分尼寺	聖武天皇は、当時流行していた天然痘などの伝染病や政治的混乱、災害といった社会不安を払拭するため、仏教の力で国を守ることを目指しました。そのため、全国各地（当時の行政単位である国ごと）に、僧侶が修行する国分寺と、尼僧が修行する国分尼寺を対にして建立させました。これらは地方における仏教信仰と国家統治の拠点となりました。
問13	答え 3 710年に元明天皇が藤原京から奈良に遷都し、律令政治の拠点とした。	律令体制を強化し、天皇を中心とする中央集権国家を完成させるために、大規模な遷都が行われました。この時期は国際色豊かな「天平文化」が栄え、遣唐使を通じて大陸の文化が数多くもたらされたことも特徴です。
問14	答え 3 調	律令制度における租税のうち、絹・布・海産物などの特産物を納めるものが「調」です。これに対し、田の収穫から約3%の稲を納めるものは「租」、都での労役（歳役）の代わりに布を納めるものは「庸」と呼ばれます。調と庸は、納税者が自ら都まで運ぶ負担（運脚）も伴っており、国家の財政を支える重要な財源でした。